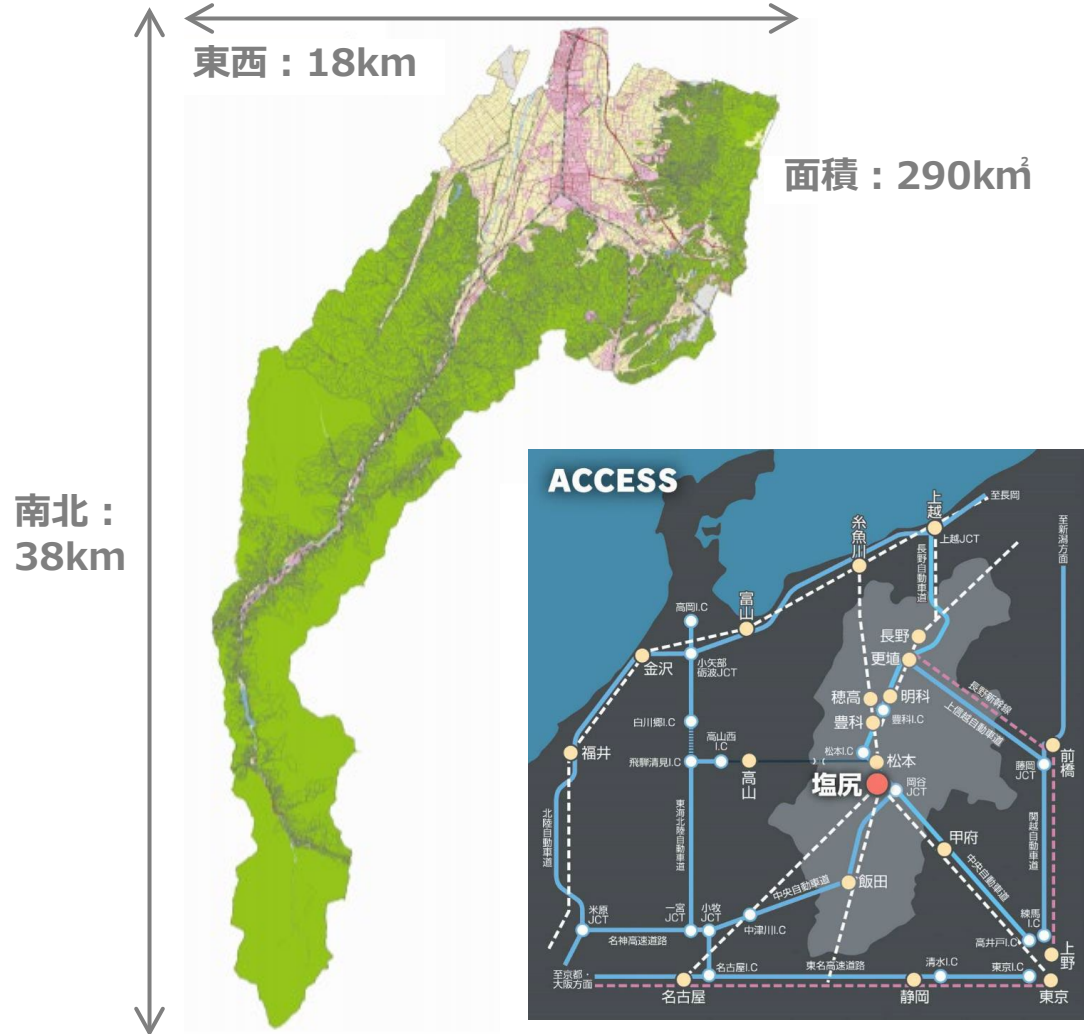


長野県塩尻市について

人口：64,962人 (R7.9.1)
予算：約318億円 (FY2025当初)



松本市・安曇野市と同圏域



奈良井宿



ワイン用ぶどうの栽培



セイコーエプソン(株)様の拠点



ワイナリー16社

ユニークプロジェクト（地域DX/地方創生/官民共創）

公設クラウドソーシング×自営型テレワーク
「KADO」
2010～



自動運転社会実装
AI活用型オンデマンドバス・MaaS
2020～



最先端技術×まちの変革×アジャイル拠点
「core塩尻」
2023～



地方創生協働リーダーシッププログラム
「MICHIKARA」
2015～2020



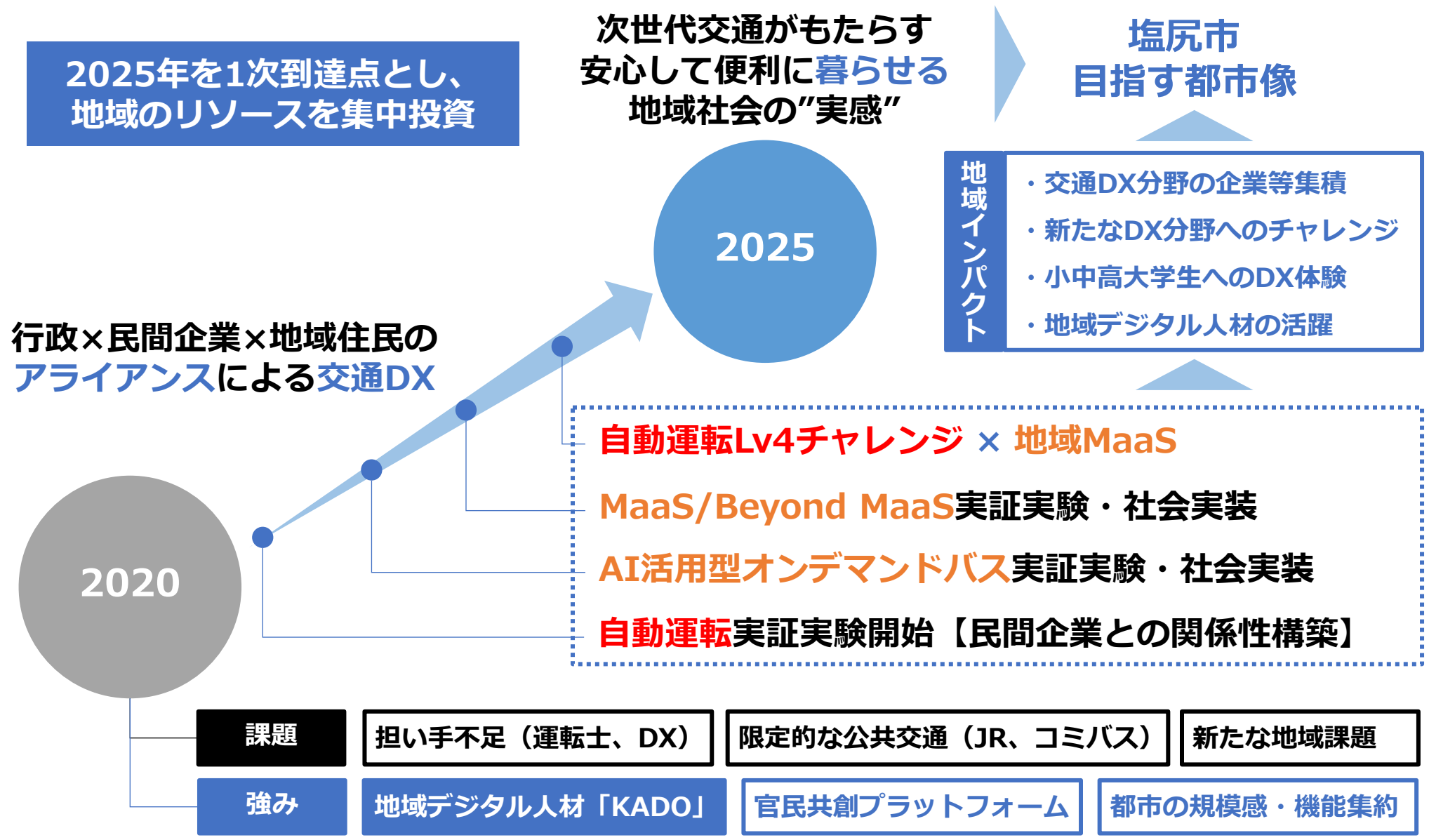
シビックイノベーション拠点
「スナバ」
2018～



奈良井宿 まちづくりプロジェクト
Byaku Narai
2021



塩尻市交通DX 全体像



2025年を1次到達点とし、地域のリソースを集中投資

次世代交通がもたらす安心して便利に暮らせる地域社会の“実感”

塩尻市 目指す都市像

- 地域インパクト
- ・ 交通DX分野の企業等集積
 - ・ 新たなDX分野へのチャレンジ
 - ・ 小中高大学生へのDX体験
 - ・ 地域デジタル人材の活躍

行政×民間企業×地域住民のアライアンスによる交通DX

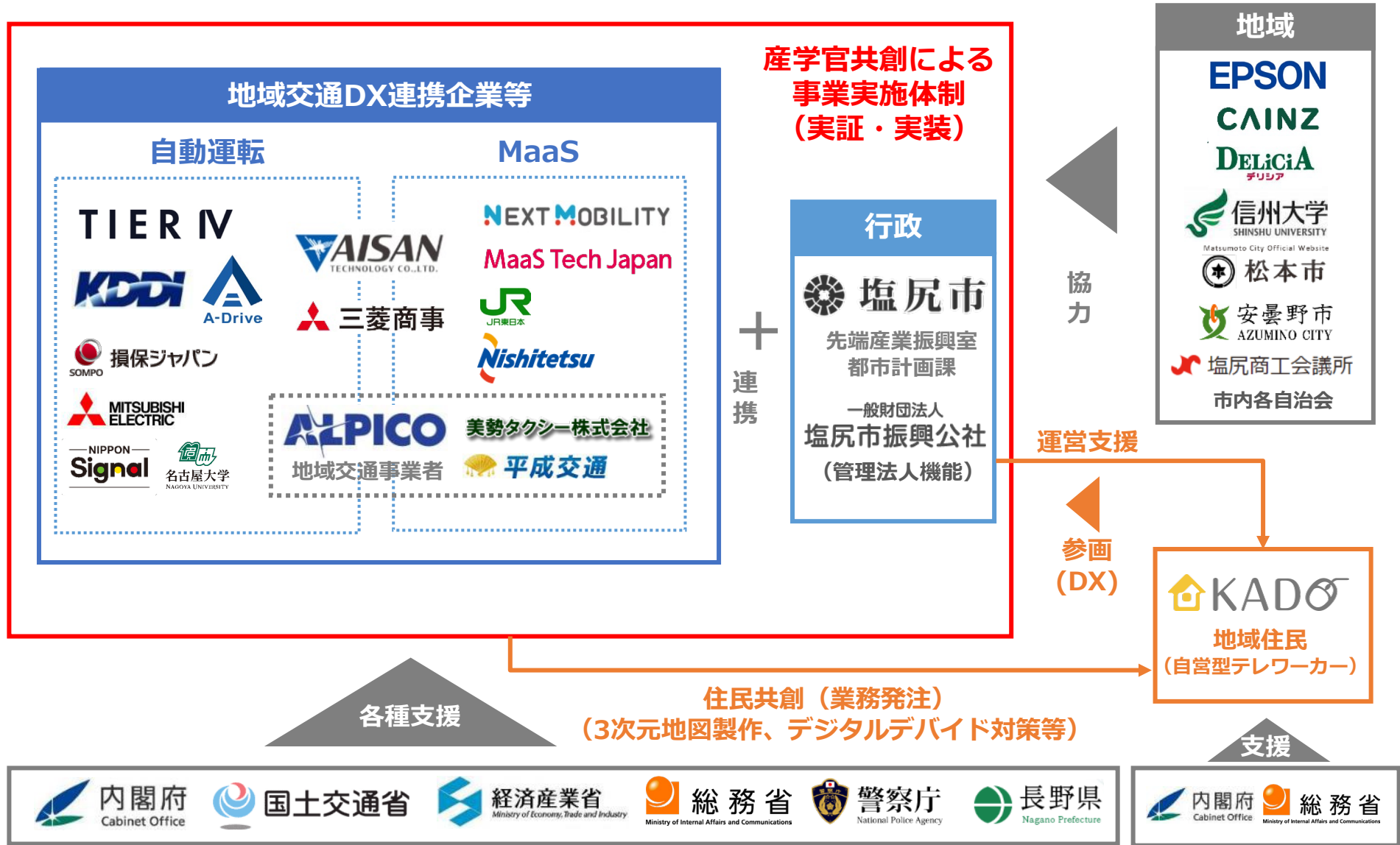
- 自動運転Lv4チャレンジ × 地域MaaS
- MaaS/Beyond MaaS実証実験・社会実装
- AI活用型オンデマンドバス実証実験・社会実装
- 自動運転実証実験開始【民間企業との関係性構築】

2020

2025

課題	担い手不足（運転士、DX）	限定的な公共交通（JR、コミバス）	新たな地域課題
強み	地域デジタル人材「KADO」	官民共創プラットフォーム	都市の規模感・機能集約

塩尻市交通DX 産学官民共創



自動運転実証概要 FY2020-FY2023

走行実績



2020年度

- 市街地周遊
- 全長4.6km
- リエッセII (埼玉大)
- レベル2 非遠隔
- 地域住民140名試乗

2022年度

- 小学生対象試乗会
- 校庭1周 200m + 小学校周辺周遊
- GSM8改造型
- 教育委員会連携
- 児童約300名試乗

2021年度

- 駅前拠点⇄商業施設連携
- 全長7.4km
- GSM8改造型
- レベル2 非遠隔
- 地域住民約200名試乗

2023年度

- 国土交通省自動運転実証調査事業・デジ田交付金
- 全長4.3km(朝・日中・夕方3ルート延べ)
- ティアフォー製Minibus(BYD J6ベース)
- レベル2 非遠隔
- 地域住民781名試乗
- 試乗属性は地元高校生、親子連れ、高齢者、視察者等。継続的な試乗希望多数

路車協調

2020年度 2021年度 2022年度 2023年度

- 2020年度からスマートポールによる路車協調実証を実施中
- 自動運転車両走行ルート上の見通し悪い交差点等においてスマートポールを設置、
- 自動運転車両・一般自家用車・歩行者・自転車等に対してそれぞれの接近情報を共有
- 2023年度はLiDAR、カメラ等複数センサーを設置し、各種センサーの精度検証を実施

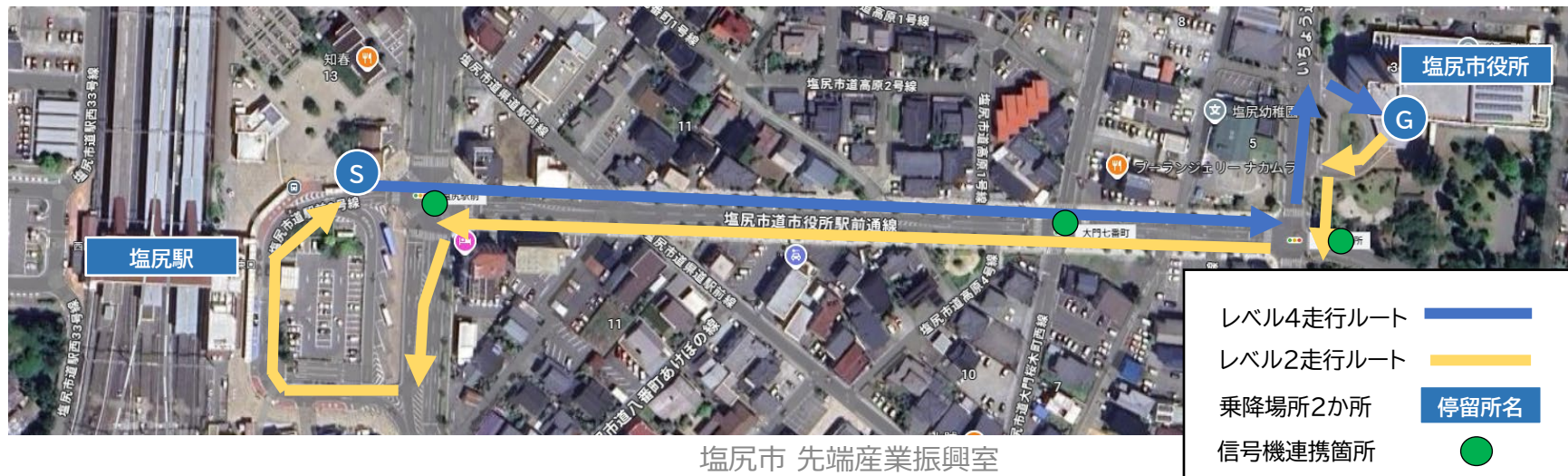
自動運転実証実験 FY2024 レベル4・特定自動運行

- 塩尻駅から塩尻市役所までを対象としたレベル4走行（特定自動運行）に係る許可申請を長野県公安委員会に提出し、令和7年1月9日付けで許可
- 一般車両や歩行者等が混在する一般公道において、通常の路線バス並みの速度域で運転席に人を座らせず運行したことは全国初の取り組みとなりました。



運行ルート

- 塩尻駅から塩尻市役所までの往路 460mとし、復路はレベル2で運行



自動運転実証実験 FY2024 レベル4・特定自動運行



自動運転実証実験 FY2025 レベル4・特定自動運行

概要

地域住民の移動利便性向上、ドライバー不足解消のため、将来的なレベル4エリア拡大に向けたレベル2運行実証を実施するもの。あわせて昨年度実施した小売連携や寄付金等の事業性確立検証を実施する。

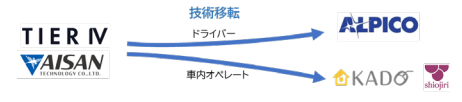
運行ルート



実施内容



▲ティアフォー製Minibus



▲アルピコ・KADOによる運行

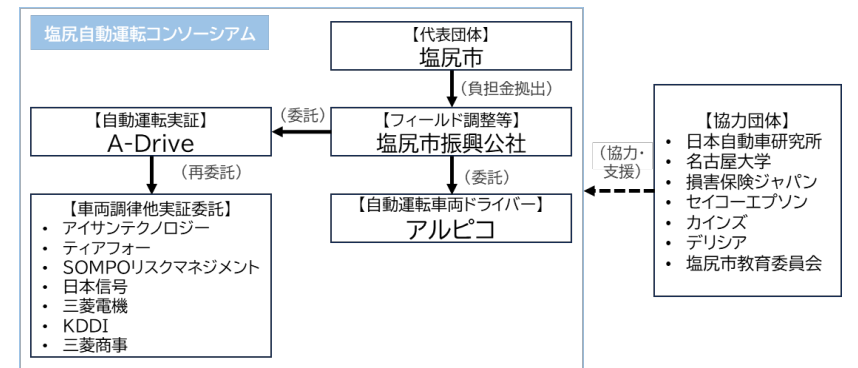


▲小売連携・寄付金・広告・協賛金による事業性確立検証▲

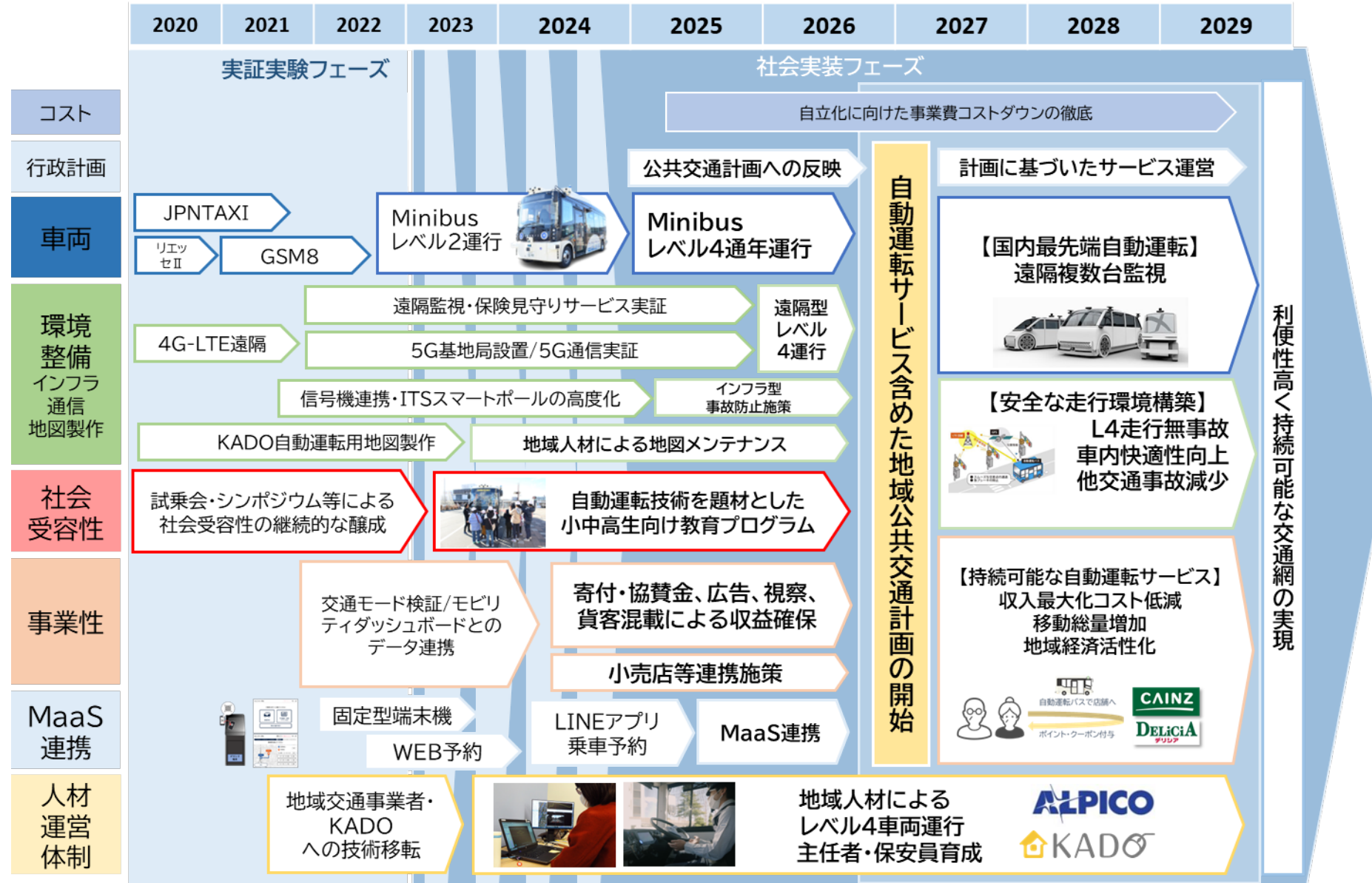


▲新規ルート上の事業者連携▲

実施体制



自動運転事業ロードマップ



自動運転事業による社会インパクト

- ✓ 産官学民共創事業、イベント等を通して都市部企業の集積と技術進展に貢献
- ✓ 企業集積と技術を活用し、教育分野への利用や仕事創出、移住定住など地域インパクトを創出
- ✓ 自動運転事業による直接的経済効果は221,842千円



企業集積

- core塩尻パートナー企業: 10社
 - ✓ アイサンテクノロジー、ティアフォー、三菱商事、EY、JARI、三菱電機、A-Drive、JR東日本企画PROHOUSE、損保ジャパン、KDDI、
- 自動運転コンソーシアム組成
- 事業連携企業: 30社
 - ✓ KDDI、損保、アルピコ、日本信号、名古屋大学、JR東日本、カインズ、トヨタ、豊田通商、パナソニック、京セラ、セイコーエプソン等
- 企業2社からの派遣、出向を受け入れ
- 視察 年間平均60件
- 民間主体イベント 4件 800名超参加
 - タウンミーティング、シンポジウム等

地域インパクト

- 教育題材や技術体験機会の提供
 - ✓ 延べ約4000人以上の地域住民に日本屈指の先端技術を体感できる場を提供
- 地域デジタル人材育成
 - ✓ KADO14名が保安員として活躍
 - ✓ KADOが全国の実証データデジタル化・分析業務を担い、500万円超受託
- 移住定住
 - ✓ 連携企業社員が家族3名で市内移住
- 地域内経済効果
 - ✓ 年間60件の視察受入、570万円超の地域内消費効果
- 資金調達
 - ✓ ガバメントクラウドファンディング、企業版ふるさと納税で累計1183万円調達

技術進展

- 国内最先端の自動運転実証を継続実施
 - ✓ 令和6年度全国初の運転席無人自動運転バス運行実証
- 交通事業者、地域人材による運行体制構築
 - ✓ 地域人材による定常運行を実現

技術移転
ドライバー
車内オペレーター

- 国内表彰
 - ✓ KADOも含めた全国へ横展開可能なモデル構築が国際交通安全学会から表彰

直接的経済効果

令和2年度以降の自動運転事業による直接的経済効果は221,842千円

①政府補助金効果	106,881
②地域企業・人材への経済効果	712
③視察収入・消費効果	5,748
④core塩尻パートナー 契約収入効果	11,220

⑤KADO受託増効果	52,501
⑥移住定住効果	12,200
⑦イベント効果	20,750
⑧寄付金・協賛金効果	11,830

目指す都市像

多彩な暮らし、叶えるまち —田園都市しおじり—



塩尻市の強みとなっている田園都市をさらに磨き上げ、
お互いや地域を支え、課題の解決に挑戦したい市内外の人々を繋げます。
さらに彼らを応援することで、新たな価値を生み出し、
それぞれのウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良好な状態)、
すなわち暮らしの質と幸福感的向上を実現します。

そして、私たちは多様な主体による挑戦とスピードによって、
新しさを創造するパイオニアとなります。
本市の知名度を高め、塩尻に来たい、住みたい、応援したい、
挑戦したいという人々(関係人口)を国内・世界で増加させ、
その人々(連携人口)とさらに新たな挑戦を展開する好循環をつくり、
より良い社会・世界に向けて貢献していきます。



お問い合わせは下記までお願いいたします。

**長野県塩尻市 先端産業振興室
担当：百瀬亮**

**電話：0263-52-0280
メール：kanmin@city.shiojiri.lg.jp**